



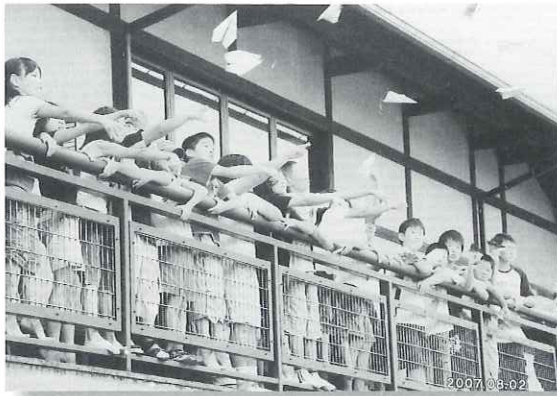
# 戦争体験と環境問題を伝える 「出前講座」

滋賀県近江八幡市 安土町老人クラブ連合会

クラブ数・21 会員数・1611名(男性…688名・女性…923名)



輪になって話し合う



紙飛行機を飛ばす子どもたち

## 戦争を伝える「安土さざなみ子どもサミット」

一方、太平洋戦争から67回目の終戦記念日を迎え、三百万人の尊い命を奪った戦争の記憶は風化していきますが、あの恐ろしかった悲惨な戦争を二度と起こしてはなりません。

そのようなことから「安土さざなみ子どもサミット」を平成18年から始めました。小学4・5・6年生を対象に「戦争を正しく語ろう」をテーマとして、戦争を体験された高齢者が語り部としてお話ししまし

安土、<sup>きぬがさ</sup>織、<sup>みつくり</sup>箕作連山の紅葉は真紅に燃えるように山を彩ります。戦国武将・織田信長の居城・安土城と観音寺城の二城址が日本名城百選に選ばれたことは8万市民の誇りです。安土山の眼下に広がる220ヘクタールの西の湖は琵琶湖最大の内湖であり、魚貝、鳥類、水生植物の貴重な地域としてラムサール条約湿地の指定を受けています。毎年多くの渡り鳥が越冬のために飛来します。

安土町老人クラブ会員は、この素晴らしいふる里・安土を子々孫々に伝えていくことを願って活動に精進しています。

た。

- フィリピンの野戦病院で麻酔を使わずに手術を受けた話
- おばあさん、母との3人で父の遺骨と対面した話

●食物がなくてひもじい思いで空腹に耐えた幼少期の話 などです。

「はだしのゲン」などのビデオ鑑賞をした後、グループに分かれて感想を話し合いました。「罪のない多くの子どもの命を奪った戦争が憎い」「戦争を止める国はなかったの?」「国連は何のための機関なの?」…グループ討議では幼な心にも鋭い意見が発表されました。

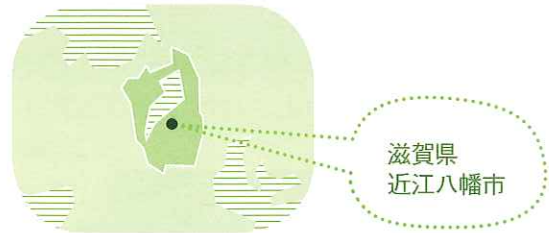
最後は、子どもと一緒に手づくりして楽しみます。紙飛行機を飛ばしたり、葦による染物、とうろう流しなど様々なメニューを準備しました。

## 環境問題も加えた「出前講座」

「安土さざなみ子どもサミット」は、平成23年からは「出前講座」として活動が続いています。小学4・5・6年生には「戦争と平和」がテーマです。昨年は老蘇おいそ小学校6年生の授業の一環として、戦争体験者の



環境問題をやさしく伝える紙芝居



語り部を継続しました。

小学1・2・3年生には「ふる里の自然を大切にしよう」をテーマにしました。今年11月23日、老蘇小学校1年生のオープンスクールにおいて、手づくりの大型紙芝居を見てもらいました。

紙芝居は、琵琶湖の環境問題をテーマに次の2作を作っています。演者は女性部長はじめ女性4名で、紙芝居の後には私が話をしました。

### 西の湖が泣いている

西の湖が汚くなったのはどうしてかな? 西の湖に流れ込む川の水質が悪いのや!

・田んぼの濁った水、生活雑排水を川に流す

- ・農薬を撒いた有毒な排水が流れ込む
- ・天ぷらの揚げ油まです。

魚貝類の死活問題です。

### さかな村の一大事

もう一度きれいな西

の湖を取り戻そう。

- ・水辺の清掃
  - ・空き缶・ビニール袋の回収
  - ・湖岸の木々の枝打ち
- 琵琶湖を守る運動の輪が広がっていくことに感謝しています。

「出前講座」では、竹を切り出して作った竹トンボを手みやげに持っていきます。無我夢中で竹トンボを飛ばす子どもたちの歓声と笑顔がうれしいです。もう1500本は作ったでしょうか。

いま日本は少子高齢化が急速に進み、深刻な社会問題となっています。子どもは家庭、町の宝です。次代の町を担ってくれる安土の子が、心豊かで健やかに成長してくれることを願っています。ナンバーワンにならなくてもオンリーワンとして人をやさしく思いやる子ども、いじめにも善悪を見きわめて勇気をもって行動できるたくましい子どもに育って欲しい。

私たち老人クラブ会員は今日まで培ってきた貴重な経験を活かして、社会教育、子育て支援に微力ながらお手伝いすることを約束いたします。

(事務局長 森本佐市郎)